

生分解性マルチの効果確認試験

JAふらの

株式会社 さつぎん



①左:試験区 右:慣行区



②試験区 印刷内容

試験目的

生分解性マルチの効果確認

試験作物
及び品種

南瓜(えびす、味平)スイートコーン

試験資材
及び数量(規格)コーンマルチⅡ(0.015mm×95cm×400m) 透明 無孔・有孔 各1本
コーンマルチⅡ(0.015mm×95cm×400m) 黒 有孔 2本

慣行資材

ナトゥーラ 銀ネズ

栽培方法

播種日

4月下旬

資材使用期間

慣行区 4月下旬～南瓜8月10日、スイートコーン8月中旬
試験区 4月下旬～南瓜8月10日、スイートコーン8月中旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

設置作業性について、伸びもよく敷設作業はしやすかった。

穴あけ作業についてもホーラーで行ったが、問題なかった。

すきこみ時にロータリーに絡むこともなく、作業は順調に終わることが出来た。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と比べそん色なかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】: 大きな問題ではないが、伸びが良いために時間が経つと多少戻る気がした。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品のほうがバリバリ(劣化)になるのが早く感じた。

透明品は雑草が繁茂したが、分解自体は期待している時期まで持ってくれた。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と比較して問題なし。

(6)保温効果について

慣行品と比較して問題なし。

(7)雑草・病害虫の発生について

透明品の特徴であるが、雑草は繁茂した。(圃場としても雑草は多めの圃場であった。)

黒については、特徴通り雑草は抑えていた。

モニター感想

慣行品と比較しても商品としては全く問題なかった。

大きな問題ではないが、商品は柔軟性があるため、少し経ってから戻って多少だおる印象があった。

黒のほうが伸びる感触があった。

商品としては問題ないため、価格的魅力があれば使用は可能と判断している。

JA担当者の感想(北エリア生産資材課上富良野店 大賀氏)

今回は透明と黒を使用いただいたが両方とも問題ない結果となったため安心している。

生分解性マルチは特に生産者の好みがあるため、全面的な切り替えは難しいかもしれないが今回の試験結果を見て、問題ない結果だったので今後に向けて商品のPRを行いたいと考えている。

今後の使用について

継続して使用したい。

商品としては問題ないため、価格的魅力があれば使用は可能と判断している。

1 栽培フィルム

2 敷設フィルム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 除菌資材

9 ICT機器

10 その他